

損保ジャパン大阪自動車研究所
改修工事で機能を充実し、さらに環境負荷の少ない施設へ
～CASBEE^{※1}-改修基準でAランク評価の認証も取得～

株式会社損害保険ジャパン（以下「損保ジャパン」、社長 佐藤正敏）は、損保ジャパン大阪自動車研究所（自動車整備事業者の整備技術・サービス向上の支援を行う施設。以下「自動車研究所」）の内外装も含めた大規模な改修工事を行い、2008年12月12日に竣工しました。

このたびの改修では既存施設の「リノベーション（“革新”“刷新”）」を基本理念として、研究所としての機能を充実させるとともに、環境負荷の少ない施設設計を行い自然と共存する環境共生施設を目指しました。その結果、第三者認証期間である財団法人建築環境・省エネルギー機構から、建築物総合環境性能評価システム（CASBEE-改修）基準におけるAランク評価の認証を2008年12月19日に取得しました。

今後は、自動車研究所を、AIRジャパン^{※2}会員を中心とした自動車整備事業者向けの各種支援策を行うために一層活用していきます。

※1：CASBEE（Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency＝建築物総合環境性能評価システム）

国土交通省が主導する建築物の環境性能評価手法で、省エネや省資源・リサイクル性能といった環境負荷削減の側面はもとより、室内の快適性や景観への配慮といった環境品質・性能向上といった側面も含めた建築物の環境性能を総合的に評価するシステム。＜（財）建築環境・省エネルギー機構のホームページから引用＞

※2：AIRジャパン

損保ジャパンの自動車整備工場代理店を会員とした全国組織。2008年10月末時点で3,311会員。

1. 自動車研究所の改修の概要

（1）研究所の概要

建築物の名称：損保ジャパン大阪自動車研究所

業務内容：自動車整備事業者の整備技術・サービス向上の支援

延床面積：6,174.47㎡

所在地：大阪府大阪市住之江区南港南2-4-7

（2）改修の概要

今回のCASBEE認証では、改修における以下の点が評価されました。

- ①屋根部分の断熱・遮熱性の向上
- ②屋上緑化施設の新設（屋上の10%：350㎡以上）
- ③太陽光遮断・断熱のための外装ガラス二重化

- ④太陽光発電装置の新設
 - ⑤太陽熱温水装置の新設
 - ⑥コージェネレーションシステムの新設
 - ⑦発電機能付ガスヒートポンプシステムの新設
 - ⑧雨水を利用したトイレ洗浄の開始
 - ⑨生ゴミ処理機の新設（処理能力20kg～35kg/日：肥料・土壌改良に利用）
 - ⑩駐車場アスファルトの緑化ブロック舗装への交換
 - ⑪全館照明器具の省エネルギーランプへの入替
 - ⑫空調設備の高効率な個別空調機への交換
 - ⑬節水自動水栓の採用
 - ⑭間伐材を使ったテーブルの食堂への設置（大阪府から「木づかいCO2認定証」を拝受）
- ◆上記④、⑥、⑦で自動車研究所全体の電気使用量の約18%を賄うことができる見込みです。
- ◆自動車研究所内フロント脇に太陽光発電の発電状況をデジタル表示するパネルを設置しています。

2. 自動車研究所改修のコンセプト

このたびの改修では、環境負荷を考え、既存施設を有効活用した「リノベーション（“革新”“刷新”）」を基本理念としました。これを実現するため、以下3点を改修のコンセプトとしました。

- ・ハイレベルな研修施設
- ・環境への配慮
- ・操業後の維持管理への配慮

3. CASBEE認証について

（1）認証取得の背景

損保ジャパンのパートナーである自動車整備事業者にとって、廃棄物対策、省資源・省エネルギー化など環境負荷低減への対応が喫緊の課題となっています。

損保ジャパンは、自動車研究所を自動車整備事業者における環境負荷低減への業務革新・変革の旗印として位置づけ、自動車研究所の改修に際し、建築物総合環境性能評価システム（CASBEE-改修）基準に基づき、施設設計を行うこととしました。

（2）認証の内容と評価のポイント

評価認証番号：第ERICAS080008RN号

認証機関：財団法人建築環境・省エネルギー機構

評価ツール：CASBEE-改修2006年版

評価ランク：Aランク（5段階評価で上位2番目）

評価認証日：2008年12月19日

評価有効期間：2011年12月11日

評価ポイント：改修後の建築物に関する環境品質性能および環境負荷低減性が評価されました。

以上